

こころん通信

第21号

平成22年1月発行

発行者:NPO法人こころん(生活支援センターこころん)

〒969-0101 福島県西白河郡泉崎村大字泉崎字下根岸9

TEL:0248-54-1115 FAX:0248-53-3063

MAIL:kokoron@r2.dion.ne.jp

ホームページ <http://www.cocoron.or.jp>

ごあいさつ

謹賀新年

新年あけましておめでとうございます。

二十一世紀のダブルゼロの十年もあっという間でした。NPO法人こころんは、この十年の間の半ばに発足し、5年を経ました。

あらたな二千年代の初めに「社会福祉法人こころん」として出発する運びになっています。ここに至るまでには、こころんの会員の皆様はもとより、ボランティアの皆さま、たくさんの方々のお力添えがあったからこそ、地域に根差し、各方面に発信し続ける「こころん」の運営を可能のものとして来ました。

年毎に利用者の方々も増し、居場所を見いだしがたい程の盛況ぶりです。様々な方面からの関心も高く、これからの法人運営に向けられている期待の重さを感じます。

共に向上心をもって働き、働くことによって向上し続け、いくらかでも社会的貢献が出来る場となる様に育っていくことを念願しています。

NPO法人こころん

理事長 関元行



■目次■

P1・・・新年のご挨拶

P2・・・クリスマス交流会

P3・・・第5回こころんチャリティーアート展

P4・・・このごろのこころん

にこにこ屋2周年、初売り、生産者会議

P5・・・リハビリ学会・セラピーCafé/臨時総会

P6・・・みんなの広場

矢部農場紹介、映画鑑賞、ほか

P7・・・相澤與一氏「保健文化賞」受賞

P8・・・行事予定

クリスマス交流会

～at那須甲子
少年自然の家～

自然の家へ
一泊二日の
小旅行～



ころんはうすのメンバーは、「ベストフレンド」を熱唱。

2009年12月14日(火)、恒例のクリスマス交流会を開催しました。この時期になると「今年はどうなるだろう?」「出し物はどうしようか」等々、あちこちでメンバーさん達が楽しみの意を表しているのをしみじみと感ずります。

今回のクリスマス交流会は会場を国立那須甲子青少年自然の家に設定し希望者は宿泊できるようになりました。「スペシャルゲストも登場?!」と言う噂もちらほら流れていました。

脳性マヒブラザーズの「ヤンキー桃太郎」に、会場は大爆笑!



当日は天気にも恵まれたものの、会場に着くとさすがにころんのある泉崎村に比べて寒かったのか、みなさん肩をすくめて足早に歩いていました。

全員揃ったところでいよいよ開会!はじめのことばを終えた後、早速出し物の発表が行われました。合唱や形態模写、劇などこの日のために準備してきたものを存分に発揮できたように感じました。

メンバーさん達の発表の後は、いよいよスペシャルゲストの登場です!新潟お笑い集団『NAMARA』から大野まさやさんと脳性マヒブラザーズのお2人をお招きして、バルーンアートやコントを披露していただきました。会場が笑いの渦と拍手の嵐で埋め尽くされ、普段味わえないような”笑い”と”楽しみ”を参加者全員が共用できたように思います。

発表の次はプレゼント交換会が行われました。一人ひとりが思い思いのプレゼントを持ち寄り、「自分のプレゼントは誰の元へ...」とドキドキ感に包まれたひとときでした。

夕食後、ミニスカートの可愛いサンタのキャンドルサービスで第2部がスタート。ゲームやころんからの景品を懸けたクイズ大会が行われました。

最後に全員で「きよしこの夜」を歌って、今年のクリスマス交流会は幕を閉じました。『NAMARA』の皆さんが驚かされていたように、また、劇を発表したあるメンバーが言ったように、「一人ひとりの個性が光り輝いていたと思います。まさに会場にいる全ての人が”主演”といえたのではないのでしょうか。(大越)



きつききゲームでは、走りまわってみんな汗だくに。

初めて司会に挑戦しました!

緊張するな～

クリスマス交流会が無事に出来たととても良かったです。あけぼの荘、なごみの家、ころんからみんなが参加してとても嬉しい限りです。新潟のNAMARAさんのコントは衝撃な感動もあり楽しかったです。

第2部では、小川さんと二人で司会を務めさせてもらい、うれしい限りです。小川さんのサポート役として少し緊張ぎみだったけれど、小川さんに僕の緊張ほぐしてもらい、司会ができて、やりがいがあり、うれしい限りです。

クイズでは、途中あまり問題をうまく言えていなかったんですけど楽しい一時でした。ゲームでは、小川さんがよく分かりやすく丁寧に参加者に教えていた所がとても印象に残っております。

震源地当てゲームやきつききゲームもあり、頭を動かす体操のゲームでした。また次回も小川さんと司会をやりたいです。そしてまた新たなゲームもやりたいと思います。

3月の「ころんで遊ぼう」というイベントでも、僕が実行員になりたいと思います。(石田貴雄)



なごみの家の劇でも熱演しました

Cocoron's Charity Art Bazaar

第5回こころん チャリティー アート展



平成 21 年 11 月 28 日(土)と 29 日(日)の 2 日間、生活支援センターこころんに於いて、第 5 回こころんチャリティーアート展が開催されました。

今年は 25 人の素晴らしい芸術家の方々の陶芸・絵画・書・織物・木工・クレイアート・皮工芸など見事な作品の数々が会場いっぱい並べられました。また日頃、絵画教室やカラーセラピー、書道教室に参加してきて腕をあげた利用者さんたちの個性溢れた作品と、カレンダーやTシャツも展示販売されました。



お茶やコーヒーショップ、カラーセラピーコーナーでは利用者さんも加わり会場の雰囲気さらに盛りあげました。又、外には特設でバザーとこころんやが出店。寒い中ではありましたが、笑顔での対応にお客さんの足が引き寄せられ単価が低いにもかかわらず、売り上げアップに繋がりました。

来場者は 198 名、お陰様で売り上げも昨年度を上回りましたが、振り返ってみるといろいろと改善点も見えてきますので来年に生かしたいと思います。

最後に、いつものことながらアート展にかかわって下さったすべての皆様に深く感謝致します。ありがとうございました。(渡辺厚子)



こころんメンバーがイラストを描いたエコバックや手作り品を販売しました



カラーセラピー
コーナーでの
ひとコマ♪

美味しいコーヒーと
チーズケーキで、
ほっと一息



アート展でのカフェコーナー

11月29日(土)と30日(日)の2日間、アート展で私は渡邊純一君と若杉雄一郎君と3人で、コーヒーコーナーを担当させていただきました。

初日の朝からお客さんにたくさん来ていただき、午前中にいきなり注文がたくさん入り忙しかったのですが、みんなで協力しなんとか2日間やりきれました。

今回やってみて感じたのは、ゆっくり時間をかけてコーヒーを淹れた時も、注文がいっぱい入ってたくさん淹れた時も、おいしく同じ味を出さなくてはいけないのが大変でした。

でも参加してとても勉強になり、次回イベントなどで機会があったらまたやりたいです。あと注文をとっていただいたりしたボランティアさんやスタッフの人たちの協力で成功したと思いますので感謝いたします。(栗原 真)



このコーナーでは、こころんが運営する職業訓練施設「直売 カフェ こころや」の最近の様子をお伝えします。

にこにこ屋は2周年を迎えました!!

昨年12月17日木曜日、白河市本町のにこにこ屋で開店2周年記念セールを開催しました。

セールに参加した感想は、前の大きいイベントより盛り上がり、一日中予想以上にお客様が来てくださって、すごく忙しかったのでうれしかったです。

そして、生産者の方が2周年の為に野菜などを提供してくださりとても感謝しています。

午前中から見ていつもより時間が早く感じて気づいた時には午後一時になっていました。あと全体的な売り上げも伸びて、ぼくと丸山さんで作ったカップケーキをプレゼント(500円以上お買い上げ先着100名様)しましたが好評でした。



にこにこ屋で働いてみて

僕は、接客をするのは初めてで、にこにこ屋に初めていった時は、緊張しました。でも、何にちかいつているうちになれてきました。

にこにこ屋の2周年記念では、ケーキ渡しと袋づめの仕事に参加できてほんとうによかったです。お客さんもいっぱいきてくれてほんとうによかったと思います。

この寒い中買い物にきてくれてほんとうに感謝しています。僕も、これからもにこにこ屋でがんばっていきたくと思います。(HANA)



そして今年目標として、にこにこ屋にかぎらず外販・こころやとも普段通り頑張っていきたいと思っています。(ゆうや)



初売りで考えた!

1月6日の初売り。混雑を予定していましたが、実際はいつもよりも少ない入り具合。

その日のうちにミニミーティングが行われ、なぜお客様が来ないのか、真剣に考えました。・・・初売りの宣伝が足りなかったのではないかな? そんな話をしました。

一方私は、『お客様は何が欲しいのか。欲しいものを用意して、欲しいものをお売りする。そして喜んでもらう。』そういった事が大切なのではないかと考えました。これは年末年始の休日に学び考えたことです。

去年は物事を良く考えずに、野菜を売ってきました。『どうすればお客様に満足を与えられるか?』そういう考えを持たずにただ漫然と野菜を売ってきました。

今年は、お客様が欲しいもの、欲しかった商品をお売りして、喜んでもらう。喜んでいただけたら、私自身も嬉しくなれる。そんな人間に成長したいです。(tks)

生産者会議

昨年12月21日(水)泉崎カントリーヴィレッジで、生産者意見交換会を開催。約40人の生産者があつまり、こころやの現状とアンケート報告、講演会、意見交換会をしました。

講演会では、経営指導員の円谷正夫先生から、「生産者として今考えなければいけないこと」と題してご講演いただきました。先生は商品開発の重要なことは、生産者と店舗が一緒になって考える、そしてお客様に「感動」してもらうこと、そのためには、「付加価値」を生み出すことが重要と強調されました。

意見交換会では、朝の納品時に生産者が話し合える場を新設する、首都圏へのネット販売の継続、ロコミでこころやの商圈を広げたいなどの意見が出されました。

約2時間でしたが、こころやに携わる、スタッフ・メンバー・生産者が一体となった密度の高い会合となりました。(栄)



日本精神障害者リハビリテーション学会 第18回 福島大会開催

昨年 11 月 21 日～23 日の 3 日間、「日本精神障害者リハビリテーション学会第17回福島大会」が郡山市の日本大学工学部キャンパスにて開催されました。医療福祉従事者だけでなく、当事者や家族の方々等、県内外から幅広い年代のたくさんの参加者が集いました。



セラピーCafé でちょっと一息

リハビリテーション学会福島大会のサテライト企画である「セラピーCafé」に参加してきました。普段ころんで月 2 回カラーセラピー講座を担当して下さっている萩原佳代子先生に教えていただけるということで興味津々！

スーツ姿もちらほらのかたくるしい雰囲気。いったい何がおきるんだ？

ころんでは、パステル・マジックなどなど色々な画材を使っているのですが、今回は参加者も大人数ということで、クレヨンのみを使用。

丸く切った画用紙にそれぞれ好きな絵を描きました。「クレヨンだけだし、ただの丸い画用紙だし、おもしろいのかなぁ」と正直思っていたのですが、完成した絵の数々を見てびっくり！



似たような絵は 1 枚としてなく、個性ダイバクハツ。その個性あふれる 1 枚 1 枚を葉や木の実にみたとて、一つの大きな木を作りあげたら、それはもう圧巻！！ 素敵な花がたくさん咲きました。(鈴木)

萩原先生&スタッフのみなさんと記念撮影！
背後にあるのが完成した「みんなの木」
やっぱりカラーセラピーは楽しい！

臨時総会にて社会福祉法人化を決定

去る1月23日(土)、NPO法人ころん臨時総会が開催されました。社会福祉法人化にともなうNPO法人の解散についての内容ですが、議案のとおり承認されました。議案の詳しい説明が欲しいとの意見がありましたのでご報告申し上げます。



当法人は平成14年に特定非営利活動法人として事業を開始し、16年3月より「精神障害者地域生活支援センター」の事業を始めてから6年目を迎えております。18年には障害者自立支援法に移行し、新たに就労移行支援、継続支援B型、グループホーム等の事業が加わり、約100名の利用者がそれぞれの事業所において社会復帰を目指して活動をしています。その事業の内容、規模、利用者の増加等に伴い、資産規模や事業の拡大等、現 NPO 法人では対応出来ないため、社会福祉法人化を目指すものです。社会福祉法人化については以前よりの懸案となっていましたので、県の担当課と話し合いを進めて来ましたところ、認可の条件が整い、このたび県の認可が可能な状況になってきました。

社会福祉法人が認可されると、現在の主な事業である障害者福祉サービス事業を行うことが出来る法人であるため、2つの法人を運営するのは大変ですのでNPO法人を解散するものです。

またこれまでの事業をそのまま引き継ぐこととなりますので、残存する財産については、定款第53条の規定及び、NPO法第11条の規定により、新設の社会福祉法人に譲渡するものとします。新法人による事業の開始時期については、4月1日より開始する予定です。

みんなのひろば

こころんってこんなところ★矢部農場の巻

新しい就労支援施設、
矢部農場です

こころんの就労支援施設に、中島村の矢部農場が新しく加わりました。もともとこころんやの生産者として、人気商品である「海源卵」を提供して下さっていた矢部農場さんより、事業を引き継ぎ、就労訓練の場として活用することになったものです。

現在、スタッフとメンバーが交代で、鶏卵の収穫・選別・エサやり・販売などに携わり、毎日 2,000 羽の鶏と格闘しています。「海源卵」は、こころんやでお取り扱いしていますので、ぜひご賞味下さい。



かいげんらん 海源卵

生命誕生の源である海の産物を飼料に多く取り入れて作った卵です。

- ① 自家配合の飼料。主原料はポストハーベストフリーのトウモロコシを使用。
- ② 飼料原材料は、遺伝子組み換えではありません。
- ③ アミノ酸の組成がよく、おいしい卵です。
- ④ 殻が強く、鮮度が長持ちします。

牡蠣殻、魚粉、海藻、ヨモギ粉末、米ぬかなど、安全な飼料をミックスしてエサを作っています。



毎日の作業は大変！
でもだんだん鶏たちが可愛
くなってきました～



映画鑑賞



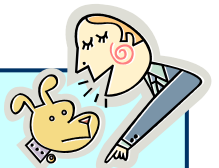
1月19日、2010年最初のレクレーションは、こころん交流室でのDVD鑑賞会でした。

上映作品は、メンバーみんなの多数決で決めた「余命1ヶ月の花嫁」。病気と闘いながらも笑顔を絶やさないヒロインに、涙・涙・涙。

片手にはできたてポップコーン、片手にハンカチと大忙しでした。



くうちゃん、やすらかに



1月15日、こころんのみんなに愛されていた愛犬くうちゃんが病気のため永眠しました。

メンバーさんの飼い犬であるくうが、こころん駐車場の犬小屋で暮らし始めて5年。

メンバー・スタッフみんなでの散歩では先導役、通所はじめて慣れないメンバーさんの話し相手、さまざまな活躍をした、こころんの大切な一員でした。

くう、今まで本当にありがと。安らかに眠って下さい。

この愛くるしい瞳に
みんなが癒されました





相澤與一氏「保健文化賞」受賞

福島県精神保健福祉連合会「つばさ会」会長の相澤與一(あいざわよいち)氏は、第一生命平成 21 年度第 61 回「保健文化賞」を受賞され、2009 年 12 月 13 日福島・グリーンパレスにおいて祝賀会が開催されました。相澤氏は県北の精神障害者家族会を立ち上げ、精神障害者とその家族の交流会や研修会を開催し、障害者と共に生きるまち作りに貢献されました。

「みんなの幸せのために」《相澤與一》

幸せの定義は難しい。およそ、この世の「不幸せ」もさまざまあるが、貧困や病気、障害も、それらが苦しいという意味では不幸である。貧困は近年さまざまな形と内容があり、世界的にも大きな社会問題となっている。日本では失業者も増え、まともな収入のある仕事を得られない非正雇用者も増え続けている。若年層にもワーキングプアが増え、小零細企業で働く人や自営業・農民層も貧困に苦しむ人が多い。ちなみに正社員でも残業が多すぎるなど、いわゆる自由な時間が少ないことも貧困の一要素だと思う。日本は OECD の『貧困率』で最高クラスにある。子どもの貧困率もワーストクラスだ。



そこで、障害者とその家族が生活において受ける不利、不自由、自尊心の損傷や貧しさなどの具体的なことを幸せでないことと理解し、その解決や緩和をはかることについて、考えてみたい。

最初に自尊心の損傷や喪失ということを取り上げると、それには直接・間接の差別による場合が多い。一面では自分や自分の家族に障害があることで、他の人や家族とは違い不幸だと思うことや、自分の側から自分を差別することで悲しみ苦しむという関係もある。

しかし、この関係が主観的なものであるかぎりでは、障害は自分のせいではないことを認め、そして他人に代わって障害を引き受けることの積極性を認め合うことで、自分と自分の家族に誇りを取り戻し、乗り越えられるものだと思う。その際、とくに仲間を得て、居場所や仕事を作ることができれば、乗り越えやすいばかりではなく、自分と社会を変える大きな力にもなる。

もっと大きな差別は、他人と社会からの差別だ。精神障害者に対してはこれがとくに強い。病気や障害の苦しみに経済的困窮が上乘せされるのは大変なことで、障害者とその家族への援助においてこの点を重視することが大事だ。彼らに対し障害者年金や生活保護で経済的に援助することとともに、居場所と働く場所をつくり、積極的に元気付けることが大事だ。権限のある相談支援の整備については、あまりにひどい現状である。家族教育を含む家族支援の制度的保障、日本ではこれがない。早期介入と積極的な家族支援と、安心して療養しながらリハビリすることの制度的保障、専門チームによる積極的な訪問ケア=outreach をぜひなんとかして欲しい。



寄付・寄贈をいただいた方 (敬称省略・順不同)

石下 恭子 佐藤 栄一 いのうえ くに子
塚越 幸子



新しく会員になられた方 (敬称省略・順不同)

《正会員》堀川 久 小林 光代

■会員募集について■

NPO 法人ではご支援くださる個人や団体の方を正会員や賛助会員として、会員を募集してきましたが、P5でお知らせしたように、社会福祉法人化した後は会員としての組織はなくなります。

こころんとしましては、長年会員としてご支援いただいている現在の会員のみなさまには、ぜひとも何らかの形で、こころんへのご支援をお願いしたいと考えております。臨時総会においても、引き続きこころんを支える組織を作れないかとの意見が出されました。

5月下旬には、NPO法人こころん解散の総会を開催する予定です。その時まで、今後の運営につきまして検討させて頂きたくお願い申し上げます。

お知らせ



活動報告

- 11月24日 そばうち教室
- 11月28・29日 こころんアート展
- 12月1日 ピアカウンセリング
- 12月15・16日 クリスマス交流会
- 12月21日 こころや生産者会議
- 12月25日 大掃除&さつき温泉
- 1月6日 こころや初売り
- 1月7日 にこにこ屋 初売り
- 1月12日 ピアカウンセリング
- 1月19日 映画鑑賞(DVD)
- 1月23日 こころん臨時総会
- 1月26日 就業セミナー



今後の予定

- 2月2日 防災訓練
- 2月13・14日 こころや加工品フェア
- 2月16日 マナー講習参加
- 2月23日 レクリエーション
食べ放題
- 2月27・28日 こころやいちごまつり
- 4月17日 こころやさくらまつり



..... 編集後記

新春を迎え、生活支援センターこころんとこころんはうすの間の敷地にビニールハウスを建てることになりました。説明書をにらめっこしながらですが、骨組みが立ち、ビニールが張られ、形になってきた!

施設に隣接したこの場所なら、誰でも気軽に農作業に参加できます。こまめに手入れが必要な食物だって大丈夫。さて、何を育てるのか(食べられるのか)、楽しみです。(植木)

いちごまつり



2月27日(土)・28日(日)

営業時間 10時~18時 イベント開催 10時~15時

桃の枝をプレゼント!

お楽しみいろいろ

- 4Lいちごの大福・黒糖饅頭・くるみ饅頭
- イチゴこころーる
- 桃の節句ちらし・弁当
- トマト・シークアーサーの天然石鹸新発売!
- 手作り惣菜・試食販売会